

生活単元学習指導案（略案）

平成 31 年 2 月 1 日 金曜日 2 校時(9:40～10:25)
小学部 2 組 男子 4 人 女子 2 人 計 6 人
場 所 小 学 部 2 組 教 室
指 導 者 内 倉 広 大 (CT), 森 泉 貴 (ST)

1 単元名 「〇〇たんけんをしよう」

2 本時の実際 (15/20)

(1) 全体目標

- ア 校外学習で調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等のロゴや外観の写真、名称や利用目的を答えたり、表にして表したりすることができる。【生活、国語】
イ 商業施設で扱っている商品に着目することで、種類ごとに分類し、地域マップ（白地図、ポスター、ワークシート）を作ることができる。【生活、算数】

(2) 個人目標

児童	個人目標
I. Ri (3年, 男)	ア 写真や教師のジェスチャーを手掛かりにして、利用目的を表したカードを正しく選び、表を作ることができる。 イ 商品のカテゴリーの名称を手掛かりにして、自ら商品の写真を分類し、地域マップを作ることができる。
T. H (3年, 男)	ア 校外学習時の動画等を手掛かりにして、ロゴに合った名称カードや店内の写真カードを選ぶことができる。 イ 教師が提示する商品の写真を見て、台紙のシンボルと写真に貼られたシンボルとを対応付けることを手掛かりにして、商品の写真を分類し、地域マップを作ることができる。
I. Ru (3年, 女)	ア 活動の様子の写真や教師や友達の発言を手掛かりにして、利用目的を表したカードを正しく選ぶことができる。 イ 商品のカテゴリーの名称を教師と確認したり、シンボルを手掛かりにしたりして商品の写真を分類し、地域マップを作ることができる。
Y. H (4年, 男)	ア 校外学習時の動画等を手掛かりにして、ロゴに合った外観の写真を選び、音声ペンで確かめながら表を作ることができる。 イ 台紙のシンボルと商品の写真に記載されたシンボルを対応付けすることで、商品を分類し、地域マップを作ることができる。
Y. K (4年, 男)	ア 利用目的を表したカードを手掛かりにして、店舗に応じた利用目的を答えたり、表を作ったりすることができる。 イ 商品のカテゴリーの名称を手掛かりにして、商品の写真を分類し、地域マップを作ることができる。
I. M (4年, 女)	ア ロゴの名称を考えたり、友達の意見を聞いたりして、外観の写真を選ぶことができる。 イ 教師の口頭での2択を手掛かりにして、商品の写真を分類し、地域マップを作ることができる。

(3) 指導及び支援に当たって

<これまでの学習の様子と本時の学習活動の概要>

児童らは、前時までに公共施設等についてロゴや外観の写真、名称や施設などの利用目的を表すシンボルを表にまとめる学習や、同じ食品を扱う商業施設であっても、店舗によって扱っている商品に違いがあることを調べてまとめる学習を行ってきた。

前時には家電量販店に出掛け、店舗内で扱っている商品について調べ、動画や静止画を用いて記録をする学習活動を行った。そこで本時では、前時の校外学習で得た情報を表や地図、ポスターなどにまとめることができるようにする。

<導入>

白地図を使って公共施設等の位置や外観の写真を確認することで、これまでの学習とのつながりを意識したり、本時の学習への意欲を高めたりすることができるようにする。基 圭 思

<展開>

- 型はめを利用した表を用いることで、型がはまる箇所を確認しながらロゴや写真、名称やシンボルごとに正しい選択肢を自ら選ぶことができるようにする。基 圭 思
- 商品の写真を分類する際には、あらかじめ写真にシンボルや音声シールを貼っておくことで、シンボルと対応付けたり、音声ペンで音声を聞いたりして正誤を確認しながら取り組むことができるようにする。基 思

<終末>

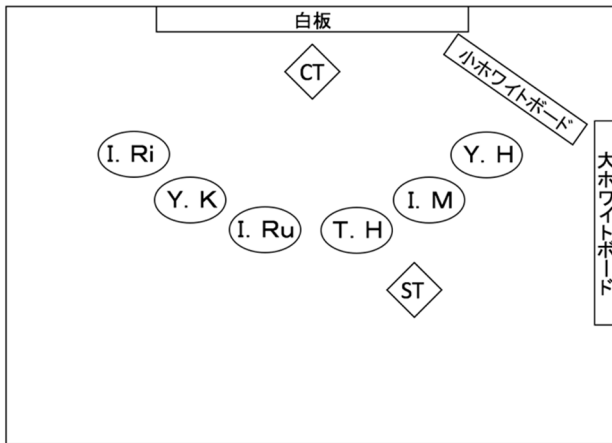
個別的学习場面で制作したワークシートをファイリングしたり、教師の発問を通してまとめたポスターの内容を確認したりすることで、学びに向かった自分を実感することができるようにする。基 人

(4) 実際

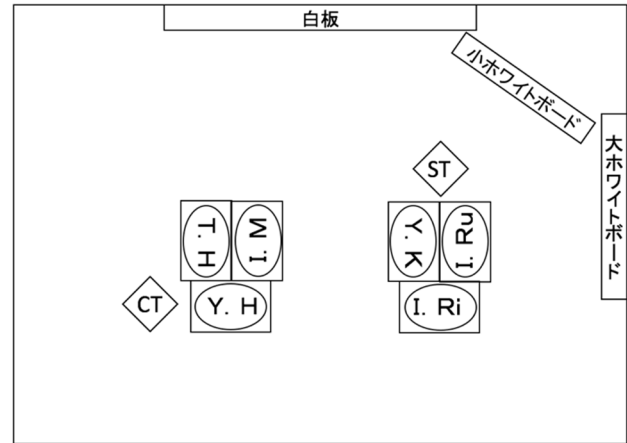
過程	主な学習活動	指導上の留意点	資料・準備
導入 (8分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時の校外学習の振り返りをする。 3 めあての確認をする。 たんけんして、わかったことをち ずやひょうにまとめよう。	- 前時までに用いていた白地図で簡単に振り返りを行うことで、これまでの学習を想起し、これまでの学習とのつながりを意識したり、本時の学習への意欲を高めたりすることができるようにする。 - 動画や写真を用いることで、前時の校外学習の活動を想起することができるようにする。 - 空欄箇所のある表やポスターを提示することで、本時の学習へのおおまかな見通しをもつことや学習意欲を高めることができるようにする。	- 白地図 - 動画 - 校外学習時の写真
展開 (35分)	4 家電量販店について調べたことや分かったことを地図や表にまとめる。 (1) ロゴや外観、名称や役割について表にまとめる。 (2) 白地図を用いて家電量販店の位置を確認する。 (3) 家電量販店で扱っている商品进行分类し、ポスターに整理する。 5 商品进行分类し、ワークシートに整理する。 【T. H, Y. H】:CT (1) 写真のシンボルとワークシートのシンボルの対応付けをする。 (2) 写真をワークシートに貼る。 【I. M】:CT 【I. Ru】:ST (1) 商品のカテゴリー名を確認する。 (2) 写真のシンボルとワークシートのシンボルの対応付けをする。 (3) 写真をワークシートに貼る。 【I. Ri, Y. K】:ST (1) 商品の名称の視写や暗写をする。 (2) 写真に記載された商品のカテゴリー名とワークシートに記載されたカテゴリー名の対応付けをする。 (3) 写真をワークシートに貼る。	T. HやY. Hが音声ペンを使ってロゴや外観、名称カードに貼られたシールのデータを再生することで、正しいカードを表にはめられているかを確認することができるようにする。 - 地図と動画とを照らし合わせながら確認することで、河川沿いの公共施設等のおおよその位置関係を確認することができるようにする。 - 商品を「家電」、「おもちゃ」、「食べ物」の三つに分類することができるように、台紙に例となるイラストや名称を書き表しておくようにする。 T. H, I. Ru, Y. H, I. Mには、ワークシートの枠内に例となるイラストを載せておくことで、自ら写真の分類をすることができるようにする。教師は必要に応じて、イラストに着目することができるように言葉掛けやイラストへの指さしをする。 I. Ri, Y. Kには、ワークシートの枠内に商品のカテゴリー名を記載しておくことで、名称を手掛かりに写真を分類することができるようにする。名称のみでの分類が難しい場合は、活動4で作成したポスターを手掛かりにすることができるように小ホワイトボードに貼ってSTが提示する。 - 写真を黒地のボードに提示することで、書かれた情報に意識を集中させて取り組むことができるようにする。特に、T. HとY. Hには、より写真に注目できるように、教師が一覧から取り出して一つずつ提示するようにする。 - 作成したワークシートは、ファイリングをし、今後の学習で確認をしたり、学びを振り返ることで学習に取り組んだ自己の達成感を味わったりすることができるようにする。	- 型はめ表 - 音声ペン - 模造紙 - 商品の写真 - ワークシート - ファイル - ボード
終末 (2分)	6 まとめをする。 7 次時の学習について確認をする。 8 終わりの挨拶をする。	- 本時で作成した地図やポスターを用いて教師が再度質問をすることで、学んだことを確認したり、地図やポスターを手掛かりにして情報を選ぶことで、整理して表すことの良さを味わったりすることができるようにする。 - 次時の学習では、本時で学んだことや分かったことについて発表し、その様子を動画に撮影することを知らせることで、次時の学習への期待を高めることができるようにする。	発表動画

(5) 場の設定

【集団学習場面】



【グループ学習場面】



(6) 評価

ア 全体目標

- (7) 校外学習で調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等のロゴや外観の写真、名称や利用目的を答えたり、表にして表したりすることができたか。【生活、国語】
- (イ) 商業商業施設で扱っている商品に着目することで、種類ごとに分類し、地域マップ(白地図、ポスター、ワークシート)を作ることができたか。【生活、算数】

イ 個人目標

児童	個人目標
I. Ri (3年, 男)	ア 写真や教師のジェスチャーを手掛かりにして、利用目的を表したカードを正しく選び、表を作ることができたか。 イ 商品のカテゴリーの名称を手掛かりにして、自ら商品の写真を分類し、地域マップを作ることができたか。
T. H (3年, 男)	ア 校外学習時の動画等を手掛かりにして、ロゴに合った名称カードや店内の写真カードを選ぶことができたか。 イ 教師が提示する商品の写真を見て、台紙のシンボルと写真に貼られたシンボルとを対応付けることを手掛かりにして、商品の写真を分類し、地域マップを作ることができたか。
I. Ru (3年, 女)	ア 活動の様子写真や教師や友達の発言を手掛かりにして、利用目的を表したカードを正しく選ぶことができたか。 イ 商品のカテゴリーの名称を教師と確認したり、シンボルを手掛かりにしたりして商品の写真を分類し、地域マップを作ることができたか。
Y. H (4年, 男)	ア 校外学習時の動画等を手掛かりにして、ロゴに合った外観の写真を選び、音声ペンで確かめながら表を作ることができたか。 イ 台紙のシンボルと商品の写真に記載されたシンボルを対応付けすることで、商品を分類し、地域マップを作ることができたか。
Y. K (4年, 男)	ア 利用目的を表したカードを手掛かりにして、店舗に応じた利用目的を答えたり、表を作ったりすることができたか。 イ 商品のカテゴリーの名称を手掛かりにして、商品の写真を分類し、地域マップを作ることができたか。
I. M (4年, 女)	ア ロゴの名称を考えたり、友達の意見を聞いたりして、外観の写真を選ぶことができたか。 イ 教師の口頭での2択を手掛かりにして、商品の写真を分類し、地域マップを作ることができたか。

授業計画シート (各教科等を合わせた指導 ver.4)

学部	教科等名	学習集団 (グループ名等)	単元・題材名	総時数 (実施時期)
①・中・高	生単 ・作業	小学部2組	〇〇たんけんしよう	20時間(1～2月)

単元・題材の全体目標	教科等
ア 学校周辺の様子を調べて回る活動を通して、地域にある公共施設や商店、河川などに気づき、その名称や役割、その働きを理解することができる。	国・社・算／数・理・音 図・美・体(保体・主)・音楽
イ 地域マップを作成する活動を通して、調べた事例について、絵や写真、絵グラフなどを用いて分かりやすく表現したり、地域マップ上の説明を簡単にに行ったりすることができる。	国・社・算／数・理・音 図・美・体(保体・主)・音楽

児童生徒名	個人目標
I. R i (3年, 男)	ア 学校周辺の様子を調べて回る活動を通して、写真を手掛かりに公共施設等の外観の写真やロゴ、名称カードや利用目的を表すイラストをマッピングさせたりすることができる。 イ 地域マップを作成する活動を通して、教師の説明を手掛かりに調べた事例を選んだ写真を選んでポスターに貼るとともに、教師の簡単な質問に応じて地域マップ上の写真を貼ったり、文を読んだりして答えることができる。
T. H (3年, 男)	ア 学校周辺の様子を調べて回る活動を通して、写真を手掛かりに公共施設等の外観の写真をマッピングさせたり、ポスターや外観の写真を利用目的を表すイラストを選び、マッピングさせることができる。 イ 地域マップを作成する活動を通して、教師の簡単な質問に応じて施設等の写真を選び、ポスターや絵グラフを作ったり、調べた事例や文を教師と一緒に読み上げ、簡単な質問に答えたりすることができる。
I. R u (3年, 女)	ア 学校周辺の様子を調べて回る活動を通して、写真と実際の公共施設とを照らし合わせて確認したり、過去の経験と想起すること、どのようなことができる施設であるかを友達に説明したりすることができる。 イ 地域マップを作成する活動を通して、〇×の差を数えることで絵グラフを作ったり、調べた事例や絵グラフなどを情報、教師とのやりとりの中で言葉に表したりすることができる。

指導計画				「本校の児童生徒に育てたい資質・能力」を育てるための工夫
学習指導要領との対応 (各教科等の内容) 記入例：(教科名)/内容・資質・能力の三つの柱・(段 階)	次	時数	学習活動	
(生活科) コ 社会の仕組みと公共施設 (イ) 身近な社会の仕組みや公共施設の使いかたなどを知ること。 ＜知・技＞(1・2) コ 社会の仕組みと公共施設 (ア) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気づき、それらを表現しようとする。 ＜思・判・表＞(1・2) (国語科) A 聞くこと・話すこと ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。 ＜思・判・表＞(1・2) B 書くこと イ 自分や名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平板名をなぞったり、書いたりすること。 ＜思・判・表＞(1・2) (算数科) D データの活用 イ (イ) ア 身の回りにあるものの個数を数目して絵グラフなどに表し、多少を数え取って表現すること。 ＜思・判・表＞(2)	一	3	1 これまでに出掛けたことのある公共施設等を表す白地図にまとめる。 (1) ロゴ、外観、マーク、名称の表を作る。 (2) 白地図(下伊敷周辺)に、公共施設等のおおまかな位置をまとめる。 (3) 公共施設等の主な利用目的等を(1)の表にまとめる。 2 複数の商業施設の特徴を調べ、比較する。 (1) コンビニエンスストア、スーパーマーケット、100円均一ショップに出掛け、お好み焼きの材料の有無を調べる。 (2) お好み焼きの材料の有無を○で示し、表にまとめる。 (3) (2)の表から、○の数が注目して絵グラフにまとめる。 (4) 表や絵グラフから分かることをまとめ、発表の様子を動画と撮影する。 3 草牟田方面の公共施設等について調べる。 (1) 甲斐川を下り、川沿いにある公共施設等を探す。 (2) (1)で見つけた公共施設等のうち、気になる公共施設等について見学をする。 (3) (2)で調べたことをまとめ、発表の様子を動画と撮影する。 4 アンケート調査をする。 (1) 学校の友達や教師に、調べた箇所のうち、好きな箇所についてのアンケート調査をする。 (2) アンケートをまとめる。 5 振り返りをする。 (1) 動画撮影したものについて、保護者から感想を聞く。 (2) 学習活動の様子について、学習アルファに整理をする。	・ 型紙めを利用した表を手掛かりにして、ロゴ、外観、マーク、名称等に公共施設等の特徴を考え、ることができるようにする。 ・ 河川沿いにある公共施設等をまとめることで、河川への関心をもつことができるようにする。 ・ これまでの調理学習と関連付けて商業施設の特徴を調べること、施設利用についての課題意識を高めたり、意図的に活動に取り組みたりすること、友達が発表の様子を動画に撮り、視聴すること、友達との発表の様子や内容に関心をもつことができるようにする。 ・ 第一次で用いた白地図に河川をつなぎ合わせて白地図をさらに広げること、調べる地域が広がることや、知らない箇所があることを理解することができるようにする。 ・ ワークシートの枠や写真、シンボルや単語カードを用いることで、可能な範囲で自分なりに調べたこととまとめることができるようにする。 ・ アンケート調査の学習を行うことで、友達が自分以外の考えや意見をもっていることに気づくことができるようになる。 ・ まとめたことについての感想を身近な人(保護者)からもらうことで、道徳や自分の成長を感じることができるようにする。

＜各教科等との関連＞	
生単「なかまのいえにとまろう」 生単「でかけよう」	算数「おおきいゆす」

＜実施時期や時数に関する評価＞※単元・題材終了後3書き	
○実施時期 適 当 ・ 要検討 ()	○必要と思われる時数 適 当 ・ 要検討 () 時間(程度必要)